

報道関係 各位

2021 年 10 月 11 日
株式会社日本レースプロモーション

10 月 16 日(土)～17 日(日)
2021 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 ツインリンクもてぎ大会

開催概要

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 倉下 明、所在地:東京都千代田区)は、10 月 16 日(土)～17 日(日)の 2 日間、栃木県茂木町 ツインリンクもてぎ(1 周:4.801379km)において、2021 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権第 6 戦 ツインリンクもてぎ大会を開催いたします。

今大会も、政府および自治体の方針ならびに JAF のガイドラインに則り、主催者と感染拡大防止対策を徹底した上で、お客様をお迎えしての開催となります。

本大会のレースフォーマットは、今シーズンのレギュレーションに沿って、土曜日に予選(Q1～Q3)、日曜日に決勝レースが行われる 2 日間開催となります。予選は Q1 と Q2 とともに、A 組 B 組の 2 つのグループに分けて実施いたします。決勝レースは、無給油及び、最低 1 回のタイヤ交換が義務付けられています(詳しくは次頁を参照)。オーバーテイクシステムの使用可能時間は 200 秒間となります。

前戦の第 5 戦では、ポイントリーダーの野尻 智紀(チーム・ムゲン)が、予選でポールポジションを獲得すると、決勝レースでも他車を圧倒する完璧な戦いを見せ、チャンピオンシップ争いの天王山ともいべきもてぎ 2 連戦の 1 戦目を完全優勝で制しました。この結果、フルマークとなる 23 ポイント(予選 3 ポイント、決勝 20 ポイント)を加算。上位 5 戦で争っている有効ポイントを 76 とし、本大会での初タイトル獲得に王手をかけています。野尻が本大会で自力チャンピオンを獲得するためには 12 ポイント以上が必要で、予選 3 位以上かつ決勝 3 位以上、または決勝で 2 位以上の成績を収めることが条件となります。

また、ポイント数字上は、大湯 都史樹(ティーシーエス・ナカジマレーシング)、関口 雄飛(カーエネクス チーム インパル)、福住 仁嶺(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)、平川 亮(カーエネクス チーム インパル)の 4 選手にもタイトル獲得の可能性が残されており、この 4 選手がポールポジションと優勝を狙いに来るのは確実で、土曜日の走り出しから緊張感のあるセッションが繰り広げられることが予想されます。

なお本大会は、FIA WEC に参戦し、ル・マン 24 時間で悲願のウィナーとなった小林 可夢偉(ケーシーエムジー)と中嶋一貴(クオ バンテリンチーム トムス)の実力者 2 人、そして、タチアナ・カルデロン(スリーボンド ドラゴコルセ)と、サッシャ・フェネストラズ(コンドー レーシング)の 4 選手が参戦いたします。実力者の凱旋参戦と、今季待ち望んでいた若手の参戦、チャンピオン争いの行方と共に見所多数の大会となります。



前戦、ポール・トゥ・ウィンで今季 3 勝目を飾った野尻 智紀(チーム・ムゲン)

公式予選

実施に当たっては、大会特別規則書第18条の運用に準じる。

予選の運用について

2021年全日本選手権スーパーフォーミュラ統一規則第27条1. 2) ノックアウト予選方式

- Q1/Q2は、2グループ(A組・B組)に分けて実施する。Q2のグループ分けはQ1を継続する。
なお、グループ分けは前大会終了時点でのドライバーズランキングを考慮しJRPが決定する。
- 参加車両が複数台のエントラントについては、少なくとも1台を別の組分けとする。
- Q1は、A組10分間走行後、5分間のインターバルを挟み、B組10分間の走行を実施する。
- Q1結果の各組上位7台(計14台)がQ2へ進出する。
- Q2は、A組7分間走行後、5分間のインターバルを挟み、B組7分間の走行を実施する。
- Q2結果の各組上位4台(計8台)がQ3へ進出する。
- Q3は、Q2終了後、10分間のインターバルを挟み、7分間の走行を実施する。
- 公式予選通過基準タイムは、Q1各組において達成された同組1位タイムの107%以内とする。
- Q2に進出できなかった車両には、Q1で最も速いタイムを記録した組の8位に予選総合15位が与えられ、別の組の8位に予選総合16位が与えられ、以降交互に総合予選順位が決定される。
- Q3に進出できなかった車両には、Q2で最も速いタイムを記録した組の5位に予選総合9位が与えられ、別の組の5位に予選総合10位が与えられ、以降交互に総合予選順位が決定される。
- セッションの間のインターバルは各10分。

ノックアウト方式の名称は、予選にて好タイムが出なければその場でノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。

決勝レース

1周:4.801379km × 35周 = 168.048km

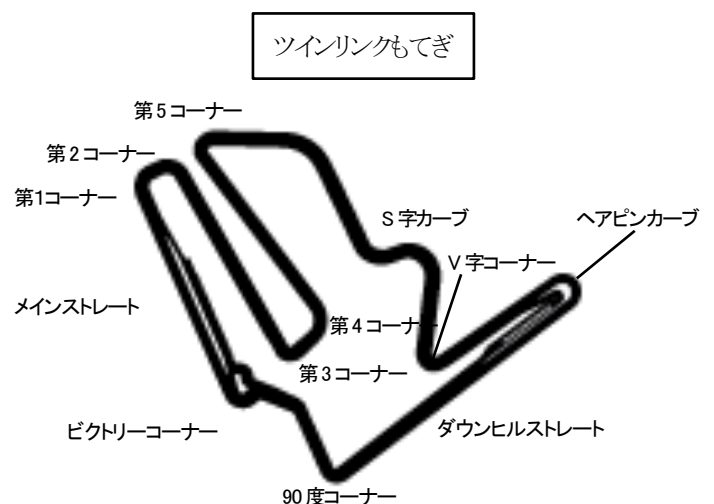
最大レース時間：1時間10分

中断時間を含む最大総レース時間：1時間40分

※**タイヤ交換義務**：タイヤ交換義務は、先頭車両が10周回目のSC導入時の仮想ライン(大会特別規則31条)に到達した時点から先頭車両が最終周回に入る前までに完了しなければならない。

ツインリンクもてぎについて

全長距離、フルコース4.8kmを誇るヨーロッパスタイルのロードコースです。コーナー数14(右8、左6ヶ所)、最大直線長762m、最大高低差30.4mのこの国際規格サーキットでは、多彩でエキサイティングなレースが楽しめます。また、典型的なストップアンドゴーのコースレイアウトから、非常にブレーキに厳しいコースとなっています。オーバーテイクポイントは非常に限られており、ダウンヒルストレートからの90度コーナー侵入でのブレーキング勝負が最大の見どころとなります。



2021年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 エントリーリスト

2021年10月11日現在

Car No.	ドライバー名	生年月日 出身地	チーム名 (読み)	エントラント名	監督	エンジン
1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/ 7/11 日本 / 栃木県	TCS NAKAJIMA RACING (ティーシーエス・ナカジマレーシング)	TCS NAKAJIMA RACING	中嶋 悟	HONDA/ M-TEC HR-417E
64	大湯 都史樹 Toshiki Oyu	1998/ 8/ 4 日本 / 北海道				
3	山下 健太 Kenta Yamashita	1995/ 8/ 3 日本 / 千葉県	KONDO RACING (コンドー レーシング)	KONDO RACING	近藤 真彦	TOYOTA/ TRD01F
4	サッチャ・フェネストラズ Sacha Fenestraz	1999/ 7/28 フランス				
5	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi	1997/ 1/24 日本 / 徳島県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	DANDELION RACING	吉田 則光	HONDA/ M-TEC HR-417E
6	牧野 任祐 Tadasuke Makino	1997/ 6/28 日本 / 大阪府				
7	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/ 9/13 日本 / 兵庫県	KCMG (ケーシーエムジー)	KCMG	松田 次生	TOYOTA/ TRD01F
18	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/ 9/12 日本 / 神奈川県				
12	タチアナ・カルデロン Tatiana Calderón	1993/ 3/10 コロンビア	ThreeBond DragoCORSE (スリーボンドドラゴコルセ)	ThreeBond DragoCORSE	道上 龍	HONDA/ M-TEC HR-417E
14	大嶋 和也 Kazuya Oshima	1987/ 4/30 日本 / 群馬県	NTT Communications ROOKIE (エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ・ルーキー)	ROOKIE Racing	片岡 龍也	TOYOTA/ TRD01F
15	大津 弘樹 Hiroyuki Otsu	1994/ 5/25 日本 / 埼玉県	Red Bull MUGEN Team Goh (レッドブル・ムゲン・チーム・ゴウ)	Red Bull MUGEN Team Goh	田中 洋克	HONDA/ M-TEC HR-417E
16	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/ 9/15 日本 / 茨城県	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	MUGEN		
19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29 日本 / 東京都	carenex TEAM IMPUL (カーエネクス チーム インパル)	TEAM IMPUL	星野 一義	TOYOTA/ TRD01F
20	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994/ 3/ 7 日本 / 広島県				
36	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/ 1/11 日本 / 愛知県	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S (クオ バンテリンチーム トムス)	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	舘 信秀	TOYOTA/ TRD01F
37	宮田 莉朋 Ritomo Miyata	1999/ 8/10 日本 / 神奈川県				
38	坪井 翔 Sho Tsuboi	1995/ 5/21 日本 / 埼玉県	P.MU/CERUMO・INGING (ピーエムユーセルモインギング)	INGING MOTORSPORT	立川 祐路	TOYOTA/ TRD01F
39	阪口 晴南 Sena Sakaguchi	1999/ 7/ 9 日本 / 大阪府				
51	松下 信治 Nobuharu Matsushita	1993/10/13 日本 / 埼玉県	B-Max Racing Team (ビーマックスレーシングチーム)	B-MAX RACING TEAM	本山 哲	HONDA/ M-TEC HR-417E

本田技研工業/M-TEC製エンジン使用チーム:6チーム8台
トヨタ自動車/TRD製エンジン使用チーム:6チーム11台

—開催概要—

- 大会名称 : 2021年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 ツインリンクもてぎ大会
- 開催日程 : 2021年10月16日(土) フリー走行 / 公式予選
2021年10月17日(日) フリー走行 / 決勝レース
- 開催サーキット : ツインリンクもてぎ(1周:4.801379km)
- 主催 : エムオースポーツクラブ(M.O.S.C)
株式会社モビリティランド
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
一般財団法人SFLアソシエーション(SFLA)
日本TCRマネジメント株式会社
- 後援 : 茂木町
- 同日開催 : 2021年 Buzz presents 全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権 第15戦・第16戦・第17戦
TCRジャパンシリーズ 2021第5戦

【TV放映】

■ BSフジ『2021スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 もてぎ』

2017年から全国無料放送のBSフジで放送している『決勝中継』を、今年も継続いたします。番組では、ルール解説やレース終了時の総括、表彰式まで、決勝レースの全体像をわかりやすく視聴者の皆様にお届けします。

- 放送時間 : 2021年10月17日(日) 26:00~27:55
- 実況 : 塩原 恒夫
- 解説 : 松浦 孝亮
- ピットレポート : 柳田 真孝

■ BSフジ『スーパーフォーミュラ GO ON!』

スーパーフォーミュラの総合情報番組『スーパーフォーミュラGO ON!』では、昨年までナレーションを担当してきた乃木坂46の樋口日奈が番組ナビゲーターとなり、直近レースの詳細解説に加えて、次の大会のレースの見どころ等、スーパーフォーミュラの魅力をたっぷりお伝えする番組に生まれ変わります。

また番組では、選手の今が見える様々な企画も放送。普段見られないヘルメットの中に隠れた選手の素顔に迫ります。

- 放送日:2021年10月10日(日) 26:00~26:55
- ナビゲーター:樋口日奈(乃木坂46)

■ J SPORTS『スーパーフォーミュラ 2021』

スーパーフォーミュラ全7戦の予選・決勝レースの模様を生中継中心にお送りします。

尚、詳しい放送スケジュール等については、J SPORTSサイトでご確認ください。

『スーパーフォーミュラ 2021 第6戦 ツインリンクもてぎ』

- 予選 2021年10月16日(土) 13:25~ J SPORTS 3 <生中継>
- 決勝 2021年10月17日(日) 14:15~ J SPORTS 3 <生中継>

【ネット配信】

- SF公式YouTube (国内)
全予選・決勝レースのダイジェスト。VOD
<https://superformula.net/sf2/video-library>
<https://www.youtube.com/c/superformulavideo>

- Red Bull TV (全世界)
全予選・決勝レース。LIVE配信。VOD
<https://www.redbull.com/jp-ja/events/superformula/>

- motorsport.tv (日本を除く全世界)
全決勝レース。LIVE配信。VOD
https://motorsport.tv/racing/super_formula/12

- J SPORTS (国内)
フリー走行(17日)、全予選・決勝レース。LIVE/VOD <有料>
https://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/

- GYAO! (国内)
全決勝レース。決勝10日後に配信。VOD
<https://gyao.yahoo.co.jp/ct/sports>

- Rev TV (カナダ)
全決勝レース。VOD
<https://revtv.ca>

【SNS】

- SF 公式 Twitter
https://twitter.com/SUPER_FORMULA
※公式ハッシュタグ『#SFormula』

- オフィシャル Facebook
<https://www.facebook.com/superformula.official>
※公式ハッシュタグ『#SFormula』

- オフィシャル Instagram
https://www.instagram.com/superformula_official
※公式ハッシュタグ『#superformula』

【SF 公式ホームページ】

- SF公式ホームページ
<https://superformula.net/sf2/>

【アプリ】

■アプリ Grooview

App StoreやPlayストアから無料ダウンロードすれば、パスワード[sf2021]のインプットですぐ使え、レース映像、実況・放送席のアナウンサー映像、ドライバーや監督、サーキットクイーン・レースクイーンの種類トークイベントやグリッドリポートなどの映像を、お手持ちのスマホで、リアルタイムで見ることができるアプリです。

さらに映像だけでなく、エントリーリスト、レギュレーション、場内マップ、コロナ対策情報等も見ることができる、サーキットでの新しい観客向け情報サービスです。

また、GPS機能によりチャンネル毎のエリア制御が可能で、例えばレース映像はサーキット内限定視聴としたり、トークイベント映像は全国配信とする事が可能です。

■SF 公式LiveTiming アプリ

スマホ iOS・Android に対応。SF 公式ホームページの「LIVE TIMING」でもご利用できます。

【チケット情報】

●指定席観戦券(2日間有効・税込) 1日分モビパークパスポート付

大人 : A席 5,600円 B席 5,300円 / 中高生 : A席 4,300円 B席 4,000円

小学生 : A席 3,700円 B席 3,400円 / 3歳~未就学児 : A席 2,200円 B席 1,900円

●自由観戦券(2日間有効・税込) 1日分モビパークパスポート付

大人 : 5,100円

中高生 : 3,800円

小学生 : 3,200円

3歳~未就学児:1,700円

●前売り駐車券(2日間有効・税込)

4輪 : 1,600円

2輪 : 600円

レースチケットのご案内 (<https://www.twining.jp/superformula/ticket/>)をご参照ください。

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション (<http://www.superformula.net/>)

102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

e-mail:media@superformula.net

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135

【2021年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 参考資料】

1. 全日本スーパーフォーミュラ選手権とは？

純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. チャンピオンシップ

2021年全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7戦、日本全国6カ所のサーキットを12チーム(エントリー)、国内外の20名(20台)のドライバー(※1)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※1)ドライバー:国内:17名、海外:3カ国(アメリカ、コロンビア、フランス)3名

2021年全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4 / 3 ~ 4	第1戦/富士スピードウェイ	Q1~Q3 ノックアウト	187.083km
4 / 24 ~ 25	第2戦/鈴鹿サーキット	Q1~Q3 ノックアウト	174.210km
5 / 15 ~ 16	第3戦/オートポリス	Q1~Q3 ノックアウト	196.308km
6 / 19 ~ 20	第4戦/スポーツランド SUGO	Q1~Q3 ノックアウト	190.09km
8 / 28 ~ 29	第5戦/ツインリンクもてぎ	Q1~Q3 ノックアウト	168.048km
10 / 16 ~ 17	第6戦/ツインリンクもてぎ	Q1~Q3 ノックアウト	168.048km
10 / 30 ~ 31	第7戦/鈴鹿サーキット	Q1~Q3 ノックアウト	174.210km

2021年シリーズ選手権 ポイントシステム

昨年に引き続き、2021シリーズは有効ポイント制を導入します。

- ドライバー: 各大会の予選・決勝の合計ポイントの上位5大会の総合ポイント。
- チーム: 各大会の決勝のドライバー合計ポイントの上位5大会の総合ポイント。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位 以下
予選ポイント	3	2	1								
1大会1レース	20	15	11	8	6	5	4	3	2	1	0

※ 最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチームが同一のポイントを得た場合、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

- ルーキー・オブ・ザ・イヤー: 当該年度初参戦となるルーキードライバーが3名以上存在する場合、その中で年間獲得ポイント最上位の選手に贈られる。
(ルーキー:SFの決勝レース出走回数が積算で4戦未満のドライバー)
- チームポイント: 各チーム(エントリー)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。
同一チーム(エントリー)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。
チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

3. シリーズ賞典

各レースでの入賞成績に応じて与えられるポイントの合算により、シリーズチャンピオンが決定。ドライバーとチームの2部門に全日本スーパー フォーミュラ選手権のタイトルが懸けられチャンピオン獲得者には下記の賞典が授与される。

- チーム チャンピオン
 - ・経済産業大臣杯
- ドライバーズ チャンピオン
 - ・ドライバーズチャンピオンカップ
 - ・観光庁長官杯
 - ・自由民主党モータースポーツ振興議員連盟杯
- ルーキー オブ ザ イヤー
 - ・トロフィー

4. レース車両

◎シャシー

車両は、2018年までのSF14で実績のあるイタリアのダラーラアウトモビリティ社の設計・製作によるもので、SF14のコンセプト「Quick&Light」を継続しつつ、2017 FIAの安全基準に対応し、空力の見直しにより、さらにオーバーテイクし易くなることで、ドライバー同士のバトルが際立つ、エンターテインメントと競技の両立を目指して開発されました。

◎エンジン

日本を代表する自動車メーカーであるホンダとトヨタが次世代エンジン開発に貢献するコンセプト=NRE(※2)に基づき開発した本田技研工業/M-TEC製/HR-417E、トヨタ自動車/TRD製/Biz-01Fを搭載しています。

このエンジンの特徴としては、「燃料リストリクター」(燃料流量規制システム)を全機装備し、燃料流量を一定にすることにより燃料をいかに効率良く活用しパワーに結びつけるかが、勝負の鍵となります。

厳しい開発競争の結果、効率の良さを図る“正味燃費消費率(BSFC)”、“正味熱効率”では市販ハイブリット車以上の性能を発揮しており、次世代エコエンジンの開発に貢献しています。

(※2)NRE エンジンについて

ホンダ、トヨタ、ニッサンが、環境技術とモータースポーツの面白さの両立に向けて決定したエンジン規定。

- ・気筒配列 : 直列4気筒
- ・排気量 : 2,000cc+ターボ
- ・燃料吸気方式 : ダイレクトインジェクション
- ・燃料流量制限 : 燃料流量90kg/h

◎オーバーテイクシステム(OTS)

昨シーズンの第6戦鈴鹿JAFグランプリにおいて、オーバーテイクシステムの稼働可能時間を100秒から200秒に延長しましたが、今シーズンはこれを全レースに適用、オーバーテイクシーンの増加が期待されます。ただし、OTS使用后100秒間は使用できません。

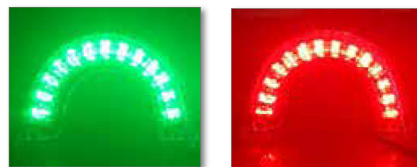
このシステムは、各エンジンに装備されている燃料リストリクターを活用し、燃料供給量を一時的に増加させパワーを上げる、というもので(※3)、ステアリングのボタン操作により、決勝レース中、最大200秒間使用可能です。また、使用回数は任意です。ただし、OTS作動後は100秒間の使用制限が設けられている為、使用するタイミングがより重要となり、戦略性が高くなっています。

なお、OTS作動中は、ドライバーのヘルメット後方にあるオーバーテイクランプ(OTL)が点滅し、観客からも視認できるとともに、リアコーションランプも連動して点滅するので、後方のドライバーも視認が可能です。

また、OTS使用可能残時間は、OTL自体の色でわかりやすく表示いたします。

●OTLの識別

- ・残り200秒から20秒までは、グリーンの常灯
- ・20秒未満は、赤の常灯
- ・0秒で、消灯
- ・OTS作動時は、点滅
- ・100秒間の使用制限中は、スロー点滅
- ・OTS作動時は、リアコーションランプが連動



残り200秒 → 20秒

残り20秒 → 0秒

(※3)オーバーテイクシステムについて

- ・メカニズム : システム作動時に燃料流量を10kg/h増加させる
- ・効果 : 約60ps、10%の出力増
- ・ルール : 決勝レース中、最大200秒間使用可能

◎タイヤ

2016年シーズンより横浜ゴム製のワンメイク供給。横浜ゴムのスーパーフォーミュラ用ADVANレーシングタイヤは、スーパーフォーミュラが要求するグリップ、耐久性、安全性などの厳しい目標に対し、高いパフォーマンスを発揮、レースの盛り上げに貢献しています。

2021シーズン、ドライタイヤ、ウェットタイヤの2種類を使用いたします。競技会期間中に使用できるウェットタイヤは最大6セット(前輪12本、後輪12本)となり、タイヤ保管方法の明確化密閉空間、および外気温より著しく高温になる空間での保管は認めないものとなりました。また、スタート前、およびフィニッシュ後の最低タイヤ内圧/温度をチェックし、不適合の場合はその場で是正させるか、罰則の対象となります。